村の話題

冷静な判断と行動で 幼い生命を救う

水に親しむ季節になりました。涼をもとめて、海水浴やプールに出かける機会が多くなります。大人でさえ水に浸りたい気持があるのに、まして子どもたちが水辺で遊びたがるのは当然です。

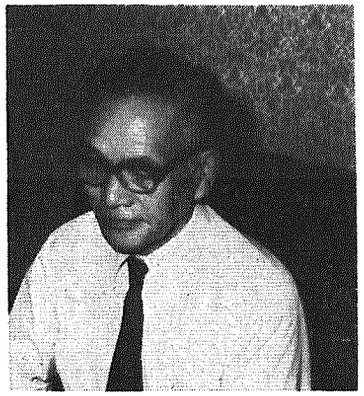
すでに、和納と岩室で―あわや―の事故が発生しております。幸、通りかかった人の機転で大事にいたらなかったもので、一歩間違えば大変なことになってしまいました。

危険な子どもたちの水遊び、大人の責任で監視し、注意し合ってほしいと思いこのお二人のお話しを紹介することにしました。

―人間として当然のことをしたまでのことです。だれでも、その場に合せれば同じ行動はするでしょう―と、二人とも異句同音に話し、現に発生した事故を暑さの増すこれからに向ってくり返えさないため地域にするのであればという条件でようやく話しを聞くことができました。

大岩安平さん（原）は、和納農協の組合長さんです。五月の初旬、ちょうど水かけの時で西川の水は、満々としており、勤務を終え、ゴミを焼却しようと裏の川べりに行ったところ、バチャーンと音がしたためみると川辺で遊んでいた女の子が転落、浮き沈みしており、とっさに長ぐつと上着を脱いで川に入り引き上げたのだそうです。

その時のことを話す大岩さんは―とにかく子どもたちは、危険を危険と思わないで遊びに夢中になるものです。それを注意し見守ってやるのが大人の責任ではないでしょうか。それが本当の勇気であるように思います――と目を細めておりました。



「人として当然のことです」
と話す大岩さん

また、石添二郎さん（岩室）は、田んぼの帰り矢川の東岸の広場で野球をして遊んでいた子が突然、川の中に入っていくのを見たので〝危ないぞ―〟と大声で叫びながら走り、川に入りひき上げた。ところが「もう一人いる」との言葉で脇をみると西岸から転落したと思われる子が流されており夢中にだき上げたそうです。――今おもえば弟が落ちたのを助けるつもりだったのでしょう――とけなげな心に感心しておりました。

―◇―◇―◇―

このような事故をなくすため、次のことをみんなで再認識し、地域の大人の責任として子どもを水から守ってやりましょう。

▽幼児のひとり遊びは危険です。常に目を離さないように。

▽子どもたちだけで水遊びや水泳に行かせないようにし、必ず大人がついていく。

▽危険な水辺で遊んでいる子どもを見かけたときは、進んで声をかけ、安全な場所で遊ぶようにさせる。

▽留守番や炊事のかたてまでの子守りは無理が生ずるので、専門の子守りをつけること。

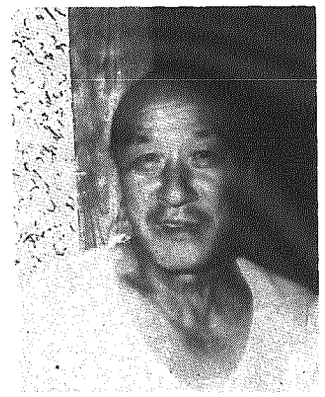
▽幼児は言葉で注意してもわからないので、目と行動でしっかり監視すること。

▽幼児の水死は、そのほとんどが家庭内や、その周辺でおきています。

▽幼児の場合、水の深さや量に関係なく事故につながるので、庭池や下水溝には絶対近づけないか、近づいても大丈夫なように、措置をしておく。

▽幼児などが、危険な場所で遊んでいるときは、すぐ注意してやめさせるか、保護者に連絡しましょう。

浴槽、金魚鉢、バケツ、下水溝など、「まさか」と思うところに落し穴があります。気をつけましょう。



「大事にならなくてよかった」
と石添さん

交通事故防止

「遊び」ながら 安全教育を

七月は、八月と並んで一年のうちで最も交通事故の多い月です。

夏休みの解放感と暑による心身の疲れから、子どもたちの注意力も鈍りがちなうえに、ドライバーも暑さと疲労で居眠り運転が増えるなど、子どもへの注意がおろそかになりがちです。

歩行中の子どもの事故原因は「飛び出し」と「車の直前直後の横断」がほとんどです。

また、自転車乗車中の事故では、十四才未満の死者が全体の二二%、負傷者三一%と大きな割合を占めています。

子どもを交通事故から守るには、安全な場所で遊ばせることはもちろんですが、日ごろの安全教育が何よりも大切です。といっても「あぶないよ」とか「注意しなさい」といった抽象的なことばだけでは、自分の行動に結びつけて理解することはできません。むしろ、子どもの日常を観察しながら「遊び」に結びつけて交通ルールを教えるのが効果的です。

広報編集のためにと 一万円のご寄附

間瀬出身で現在、北海道釧路市に住んでおられる。**高橋重昭**さんから、毎月送っていただいている広報「いわむろ」の編集に役立ててほしいと一万円のご寄附がありました。

趣旨に添い有意義に活用させていただきます。

ありがとうございました。

一年に一度 健康の確認を行ないましたか？
―総合検診を終って―

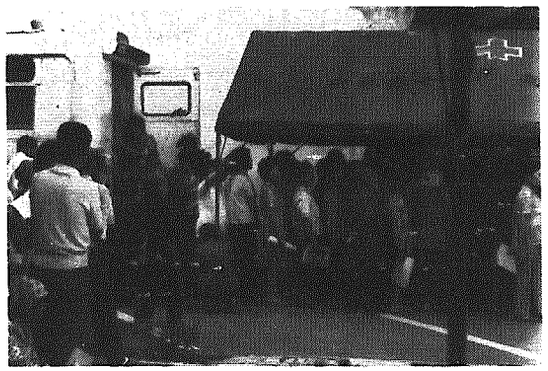
五月二十九日から、六月二日までの五日間にわたり循環器検診を実施いたしました。その部落別受診状況がわかりましたので、お知らせいたします。今年度の検診対象者約二、五六〇人でしたが、検診を受けられた人は、その中の半数一、六六六人でした。一、六六六人の一次検査の内容をみてみますと、異常なし―一、〇二二人、尿に糖の出た人―五〇人、尿にたん白の出た人―四〇人、血圧の高かった人は、約四割で六〇人でした。今年初めて検診をうけたという三〇～四〇代の比較的若い年代にも、尿異常や血圧の高い人が目立ちました。これらの人達約六五〇人が二次検査を受けました。（検査結果については八月中旬に、各個人にお返ししたいと思います。）

また、二〇才以上の女性を対象として、行なった貧血検査の結果をみますと、約六五〇人の人が、検査を受けましたが、その中で約七〇人（一〇人いると一人が貧血）が貧血であるという結果が出ました。

特に三〇～四〇代の働き盛りに、貧血の人が多くみられるようでした。

このように見てきますと三〇～四〇代のまだまだ大丈夫と思われる年代から、少しづつ体に成人病のきざしが現われてきているようです。都合が悪くて、受診できなかった人も、一年に一度は、健康を確かめ、不安のない明るい毎日を送りましょう。

（文責　保健婦）



〔総合検診受診状況〕

部落名＼要目	S53年4月1日の総人口	検診対象者	受診者数	受診率(%)
池瀬	182	65	47	72
室曽	718	254	92	36
本田	884	330	118	36
瀬内	317	109	53	49
野井	217	91	47	52
中上	254	96	43	45
鳥島	77	29	13	45
島根	70	21	17	81
越谷	93	30	20	67
島畑	133	41	26	63
栄	421	135	54	40
保ヶ谷	278	101	55	54
橋	85	20	11	55
久	41	14	12	86
猿	124	42	23	55
南	137	34	27	79
北	155	57	44	77
夏	124	27	19	70
西	114	30	18	60
潟	178	55	33	60
長曽船				
白				
西				
横				
西				
新				
油				
高				
小計	4,602	1,581	772	
一区	147	50	37	74
二区	103	43	27	63
三区	126	39	26	67
四区	96	34	25	74
五区	137	57	33	58
六区	171	57	37	65
七区	201	57	40	70
小計	982	337	225	
原	135	40	36	90
雲	138	29	25	86
田	52	20	15	75
岡	153	40	38	95
津	459	81	70	86
富	276	61	57	93
橋	459	100	91	91
高	292	49	39	80
和納一区	201	45	32	71
和納二区	414	86	75	86
和納三区	279	63	55	87
和納四区	328	57	49	82
和納五区	161	34	28	82
和納六区	92	14	9	64
和納七区	169	13	13	100
和納八区				
和納九区				
和納十区				
和納十一区				
小計	3,608	732	632	
合計	9,192	2,560	1,666	62.8

分譲住宅と 分譲宅地の募集

新潟県住宅供給公社では和納団地の分譲住宅及び分譲宅地について、その募集を継続受付することになりました。

それによると、分譲住宅では、明年三月引渡し分、二一戸、明年十一月引渡し分、三五戸、また分譲宅地は三四区画です。

これらの受付方法は、先着順で決定されます。

詳しいことをお知りになりたい方は、県住宅供給公社か役場総務課まで問合せください。

岩室大祭カラオケのど自慢 出場者募集

商工会青年部では，岩室大祭とあわせ，カラオケのど自慢大会を企画し，その出場者を募っています。

自薦，他薦，いずれでも結構です，のどに自信のある方どしどし申し込んで下さい。

- ○日　　時　7月22日（土）午後7時～9時
- ○場　　所　岩室丸小山広場
- ○募集人員　先着25名
- ○申し込先　商工会事務所　2―3209
- ○申し込要領　氏名，年令，職業，住所，曲目を添えて申し込下さい。
- ○申し込〆切　7月15日
- ○表　　彰　優秀な方には，豪華賞品を，出場者全員に参加賞を贈ります。